

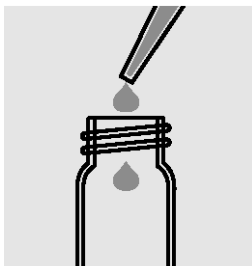
# アンモニウム vario

プログラム番号

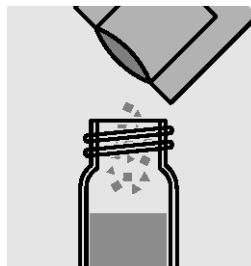
## 7324

WTW モデル番号	NH4-1 TP
分類:	RS (試薬試験)
セル:	20 mm
測定範囲:	0.01~0.50 mg/l NH <sub>4</sub> -N
	0.01~0.64 mg/l NH <sub>4</sub>
	mmol/l 表示が可能

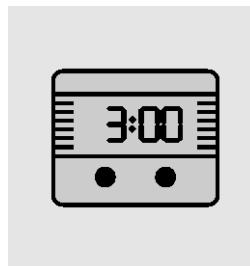
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



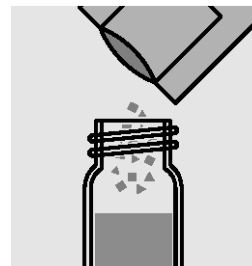
1. ピペットで 10.0ml の試料を取り、空のセルに入れます。



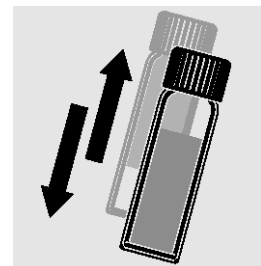
2. VARIO AMMONIA サリチル酸塩 F10 粉末パックの中身を加え、ねじぶたでセルを閉じます。



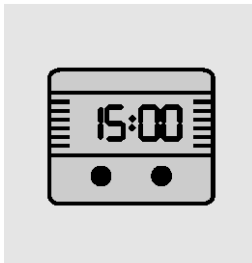
3. 3 分間放置して反応させます (反応時間)。



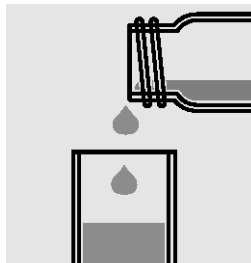
4. VARIO AMMONIA シアヌル酸塩 F10 粉末パックの中身を加え、ねじぶたでセルを閉じます。



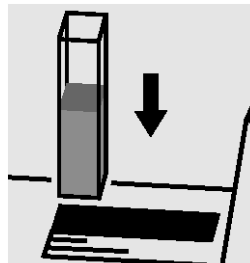
5. セルをよく振とうして、固体物を溶かします。



6. 15 分間放置して反応させます (反応時間)。



7. 溶液を測定セルに入れます。



8. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

### 注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値 (試料の代わりに脱イオン水) を測定することを推奨します。
- 試料内に NH<sub>4</sub>-N が存在する場合、溶液は、VARIO AMMONIA シアヌル酸 F10 の添加後、緑色に変化します。
- 塩素が存在する場合、試料はサンプリング後ただちにチオ硫酸ナトリウムで処理しなければなりません。試料 1L について、塩素 0.3mg/l あたり 1 滴の 0.1mol/l チオ硫酸ナトリウム溶液を滴下してください。

# アンモニウム vario LR

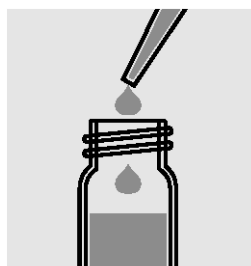
プログラム番号 **7312**

WTW モデル番号	NH4-2 TC(LR)
分類:	KT(反応セル試験)
セル:	16 mm
測定範囲:	0.02~2.50 mg/l NH <sub>4</sub> -N
	0.03~3.20 mg/l NH <sub>4</sub>
	mmol/l 表示が可能

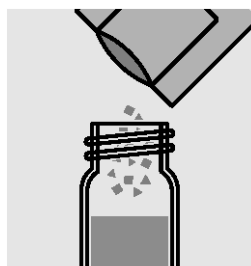
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



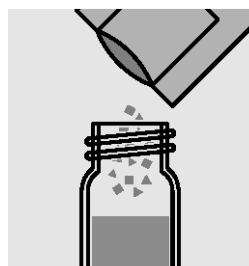
1. 試料の pH 値をチェックします。  
必要な値: 約 pH 7  
必要に応じて水酸化ナトリウム水溶液または塩酸で補正してください。



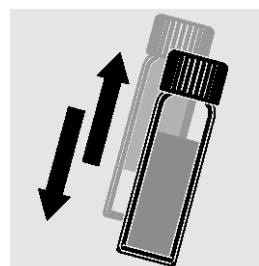
2. ピペットで 2.0 ml の試料を取り、反応セルに入れます。



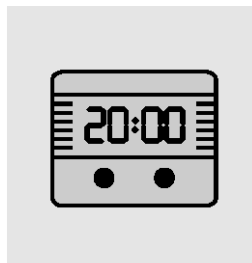
3. VARIO AMMONIA サリチル酸塩 F5 粉末パックの中身を加えます。



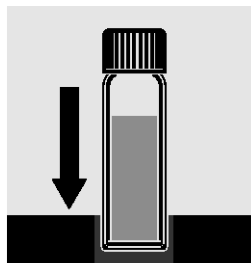
4. VARIO AMMONIA シアヌル酸塩 F5 粉末パックの中身を加え、ねじふたでセルを閉じます。



5. セルをよく振とうして、固体物を溶かします。



6. 20 分間放置して反応させます。



7. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

## 注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料内に NH<sub>4</sub>-N が存在する場合、溶液は、VARIO AMMONIA シアヌル酸 F5 の添加後、緑色に変化します。
- 塩素が存在する場合、試料はサンプリング後ただちにチオ硫酸ナトリウムで処理しなければなりません。試料 1L について、塩素 0.3mg/l あたり 1 滴の 0.1mol/l チオ硫酸ナトリウム溶液を滴下してください。
- 鉄が測定値に干渉しますが、次のようにして排除できます: 鉄の全濃度を測定し、その濃度で鉄標準液を調製します。この溶液を使用して、アンモニウム(蒸留水の代わりに)の測定値に対する試薬ブランク値を決定します。

# アンモニウム varioHR

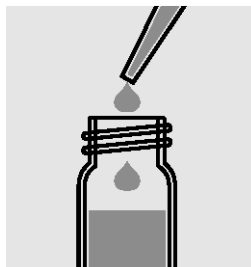
プログラム番号 **7313**

WTW モデル番号	NH4-3 TC (HR)
分類:	KT(反応セル試験)
セル:	16 mm
測定範囲:	0.4~50.0 mg/l NH <sub>4</sub> -N
	0.5~64.4 mg/l NH <sub>4</sub>
	mmol/l 表示が可能

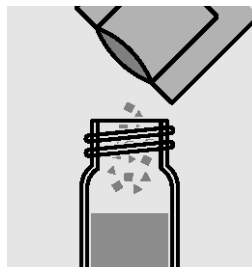
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



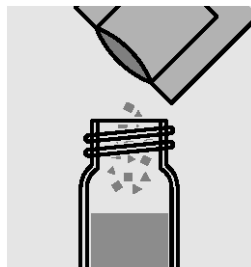
1. 試料の pH 値をチェックします。  
必要な値: 約 pH 7  
必要に応じて水酸化ナトリウム水溶液または塩酸で補正してください。



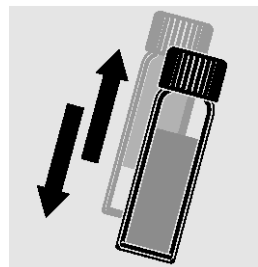
2. ピペットで 0.1 ml の試料を取り、反応セルに入れます。



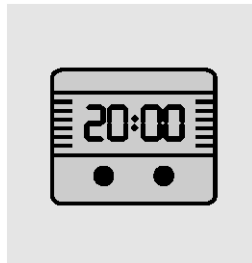
3. VARIO AMMONIA サリチル酸塩 F5 粉末パックの中身を加えます。



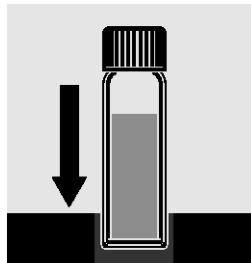
4. VARIO AMMONIA シアヌル酸塩 F5 粉末パックの中身を加え、ねじふたでセルを閉じます。



5. セルをよく振とうして、固体物を溶かします。



6. 20 分間放置して反応させます。



7. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

## 注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料内に NH<sub>4</sub>-N が存在する場合、溶液は、VARIO AMMONIA シアヌル酸 F5 の添加後、緑色に変化します。
- 塩素が存在する場合、試料はサンプリング後ただちにチオ硫酸ナトリウムで処理しなければなりません。試料 1L について、塩素 0.3mg/l あたり 1 滴の 0.1mol/l チオ硫酸ナトリウム溶液を滴下してください。
- 鉄が測定値に干渉しますが、次のようにして排除できます: 鉄の全濃度を測定し、その濃度で鉄標準液を調製します。この溶液を使用して、アンモニウム(蒸留水の代わりに)の測定値に対する試薬ブランク値を決定します。